

特定非営利活動法人ハンガー・フリー・ワールド(HFW)

2018年6月度理事会 議事録

■開催日時 2018年6月15日(金)18:00~21:30

■開催場所 HFW事務所

■役員総数 9名(理事7名、監事2名)

■出席者数 8名

関口和孝理事長、西岡はるな副理事長、長谷川雅子理事、原田麻里子理事、渡邊奈美子理事、渡邊清孝理事・事務局長、大島仁志監事、矢崎芽生監事

■書面表決者 1名

山本のり子理事

■議事

1. 開会(司会:渡邊理事・事務局長)

2. 出欠確認(上記の出欠状況が報告された)

3. 理事長挨拶

4. 議事録署名人の任命

西岡副理事長、渡邊理事・事務局長が、関口理事長より任命された。

5. 議事

【審議事項】

◎内部留保の方針

渡邊事務局長より資料 S-1 の議案が上程された。上程された内部留保の条件が現状と異なる事から(内部留保の厳しい時期が1月ではなく6月に変化している等)、現状に沿った条件を整理し、次回理事会で審議することとなった。

◎リスクマネジメント方針

渡邊事務局長より資料 S-2 の議案が上程された。支部国での洪水等の災害も想定されることから、文面の「地震、台風、火災」を「地震、台風、火災等」に修正すること、本方針に沿って今後各種規程を導入することが可決された。

◎ウガンダ支部 車両修理に関する処遇後の対応

渡邊事務局長より資料 S-3 の議案が上程され、以下の付帯事項を条件とし可決された。

・ウガンダ支部以外の支部の定年については、情報を収集し、MLで流す。

・渡邊事務局長のウガンダ出張前に正副理事長とトラブルを回避するための策(臨時の支出等含め)を検討する。

◎2018年度一時金

渡邊事務局長より資料 S-4 の議案が上程され、可決された。

◎行動指針(ミッション・ビジョン含む)

渡邊事務局長より資料 S-5 の議案が上程された。重要なテーマであるため、設立当初のメンバーである支部事務局長の意見を反映させることや、理事会の限られた時間で承認する形式ではなく、役職員が意見を交え、指針の背景や内容を咀嚼しながら創作していくプロセスを経て、行動指針を導入することとなった。

◎各種規程改定

渡邊事務局長より資料 S-6 の議案が上程され、可決された。

【討議事項】

事務局長(本部/支部)の任期

渡邊事務局長離席のもと協議され、任期設定の必要性等について認識が共有された。

【報告事項】

◎財務

渡邊事務局長より、資料 H-1 の報告がされた。

◎会員／ひとつぶ募金拡大状況

渡邊事務局長より、資料 H-2 の報告がされた。

◎バングラデシュ支部 内部会計監査報告

渡邊事務局長より、資料 H-3 の報告がされた。監査実施過程で発覚した、事業目的と異なる活動が展開されている件について、以下のやり取りが行われた。

西岡副理事長／原田理事：活動成果と資金の予実管理の問題について、本来は本部の事務局長が会計監査で問題点に気づく前に、チェックされる体制が本来あるべき。

渡邊事務局長：会計担当では把握が困難。この問題の原因と改善策を海外事業マネージャーに既に指示出し済み。予実管理については、本来昨年の6月以降にやり始めたが、支部運営の様々な問題への対応、支部の給与体制や就業規則の作成等を優先させ、予実管理は停止させている状況。来年から再開予定。

◎活動報告

改善／管理部門担当職員の熊坂より資料 H-4、資金調達担当の石川より資料 H-5-①、広報担当の糟谷より資料 H-5-②、地域開発マネージャーの佐藤より資料 H-6、アドボカシー／啓発活動／青少年育成マネージャーの米良（一部儘田）より、資料 H-7～9、渡邊事務局長より、資料 H-10 の報告がされた。

N 連事業の課題について、実現可能なレベルで本部の体制を強化する事、渡邊事務局長のウガンダ訪問を通じて、支部事務局長のマネジメント体制を指導することが共有された。大島監事より混乱時に外部から人材を投入する事について更なる混乱を招く事が予想されるため反対の意見が出された。


以上、この議事録が正確であることを証するため、議事録署名人が下記に署名する。

2018年7月20日

議長

関口 和孝 

議事録署名人

西岡 はるな 

渡邊 清孝 